



豊郷町

ただいま、青春中!

360°VRで 豊郷町を体験!

スマートフォンやタブレットでQRコードを読み込み、表示されるアドレスをタップすると、目の前に360°の景色が! 上下左右動かしてみてください。



子育てしやすい、
みんなやさしい
[30代]

医療費が
高校生まで無料!
[40代]

近江鉄道を
応援しよう!
[70代]

豊郷は人と人が
近いまちです
[20代]

災害が
少ないまち
[30代]

豊郷小学校
旧校舎群は
街のシンボル
[50代]

子ども江州音頭を
がんばっています
[10代]

100歳まで生きる!
[90代]

子育て
支援センターが
楽しいです
[20代]

豊郷の歴史を
残していきたい
[40代]

ママ友仲間で
ハンドメイドに
はまっています
[30代]

豊郷は
お米や野菜が
豊かな郷
[60代]

みんなの 青春を聞きました!

まちの元気をつくるのは町民一人ひとりの力。
豊郷町でいきいき暮らすみなさんに
謳歌している青春を
語っていただきました。

子どもたちに
野球を
教えています
[20代]

子ども食堂の
ごはんが
おいしいです
[~9歳]

江州音頭と
豊郷音頭は
踊りの輪
[70代]

夫婦で
ウォーキングが
日課です
[40代]

あったかホームは
私の大切な居場所
[60代]

ちょうどいい感じの
田舎
[40代]

ダンスの
全国大会に向けて
奮闘中!
[10代]

コスモス畑が
きれいです
[20代]

可愛い孫に
会えるのが
一番の幸せ
[80代]

人の輪が
あったかいよ
[30代]

のんびりで
フレンドリーな
まちです
[10代]

江州音頭は
豊郷の自慢
[70代]

わたしも
青春中です!

昭和46年2月に誕生した豊郷町はこの度町制施行50周年という大きな節目を迎えました。

歴史や伝統、自然環境などを次世代に継承しつつ、さらに50年後100年後へ向け、魅力と個性あるまちづくりに取り組んで参ります。

本誌は豊郷町第5次総合計画の将来像として掲げる「一生青春」をテーマに、協働のまちづくりを進める豊郷町を紹介しています。

ぜひ多くの方にご覧いただき、豊郷町への理解と愛着の一助としていただければ幸いです。

豊郷町長 伊藤定勉

豊郷町は ただいま青春中!

豊郷町のまちづくりのキーワードは「一生青春」。年齢や性別に関係なく誰もが夢を持ち、いきいき元気に暮らせる「青春」のまち。それが豊郷町なんです。

CONTENTS

- 2 豊郷町はただいま、青春中!
- 4 わたしの青春
- 4 わたしの青春「子育て」
- 4 輝く笑顔を見守る青春の日々
- 6 わたしの青春「教育」
- 6 学び深める青春の時間
- 8 わたしの青春「観光」
- 8 白亜の教育殿堂に響く青春の音色
- 10 わたしの青春「産業」
- 10 豊かな大地に育つ青春の実
- 12 わたしの青春「江州音頭」
- 12 刻み込まれる青春の舞
- 14 わたしの青春「歴史」
- 14 三方よしが導く青春の心意気
- 16 一生青春 みんなで安心元気なまち
- 16 豊郷町のまちづくり
- 18 青春中のまち 豊郷町MAP
- 20 65年の軌跡〜豊郷年表〜



1



2



4

輝く笑顔を見守る青春の日々

子育て支援体制が充実している豊郷町は安心して子育てできるまちとして町内外から高く評価されています。

豊郷町では安心して子育てできるまちづくりを目標に子育て環境の整備・充実を進めてきました。平成26年(2014)には、豊郷町子育て応援医療費助成の拡充により、高校生世代までの医療費無料化を県内で初めて実現しました。また、子育て支援として、乳幼児健診や親子で楽しく遊びながら子どもの健やかな成長を支援する親子教室、乳幼児相談、発達相談、不育症助成事業などきめ細やかな支援を行っています。さらに地域の子育て支援の拠点となる子育て支援センターでは子育て相談や年齢別教室の「子育て広場」の開催、緊急時などに子どもを預かる一時預かり保育など多様な保育ニーズに対応しています。若い子育て世代がより一層住みやすいまちづくりに向けて地域の子育て支援の強化や子どもが安心して遊べる場づくりなどにも取り組んでいます。これらの取り組みにより、ファミリー層の転入も増えています。

◆子どもの健やかな成長と発達を支援する乳幼児健診。◆親子で遊べる「遊びの広場」や年齢別教室「子育て広場」など子どもの遊び場を提供するほか、保護者同士の交流の場にもなっている子育て支援センター。◆豊郷町内には公立保育園1園、私立保育園1園、公立幼稚園1園があり、幼児期の教育・保育を提供しています。



3



5

学び深める 青春の時間

地域の宝である子どもたち一人ひとりを大切に、
学校・家庭・地域が一体となって、
学びを通じた育ちを地域ぐるみで
応援しています。

豊郷町は子育て環境と並んで子どもの教育環境の充実にも力を入れています。町内の小中学校ではGIGAスクール構想に基づき、PC端末の配置や校内LANなどの環境を整備し、生徒が1人1台のタブレットを使う学習に取り組んでいます。さらに食育も推進し、小中学生を対象とした給食費無償化を県内で初めて実現しています。また、一流スポーツ選手から学ぶ特別授業「夢の教室」や小学生の体験学習「さとっこふれあい教室」など特色のある事業も実施し、子どもたちの心身ともに健やかな成長を支援しています。

- ◆児童・生徒1人に1台のタブレットを使った新しい学びがスタート。
- ◆中学生がまちの未来について考える「中学生議会」。
- ◆本物の力士を招いて毎年開催される日栄小学校の相撲大会。
- ◆小学5年生と中学2年生を対象に、トップアスリートから夢を持つことの大切さを学ぶ特別授業「夢の教室」。
- ◆豊日中学校吹奏楽部が日ごろの練習の成果を披露するスプリングコンサート。
- ◆多様な体験を通じて学ぶ「さとっこふれあい教室」。
- ◆豊郷町出身の近江商人ゆかりの総合会社「丸紅」を見学する小学生の校外学習。



360°VR
豊栄のさとを体験!

白亜の 教育殿堂に響く 青春の音色

近江商人の
先人から贈られた学び舎は、
郷土愛の象徴であり、
豊郷町のかけがえない宝物です。

国登録有形文化財の豊郷小学校旧校舎群は、昭和12年（1937）に同校の卒業生で丸紅商店の専務だった古川鉄治郎氏の寄贈によって建てられました。建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏の設計による当時としてはモダンな建物は「東洋一の小学校」「白亜の教育殿堂」と称えられました。現在は町立図書館や子育て支援センターなど町の複合施設として利用されているほか、一般公開もされています。人気アニメの舞台のモデルとして知られることから全国からファンが訪れます。

◆地域の集会所としての役割も担ってきた講堂。◆建設当時の様子を再現した復元教室。◆観光案内所として利用されている副徳記念館。◆端正なたたずまいの外観。外壁は大規模改修時に建設当時の色が再現されました。◆かつての白亜の学び舎は、豊郷町の輝けるシンボルとして多くの人々に愛されています。◆建物を特徴づける広く長い廊下。



360°VR
豊郷小学校
旧校舎群
を体験!



豊かな大地に育つ 青春の実

主要作物の米や野菜、近江牛、地酒など豊かな自然風土と伝統文化を生かしながら豊郷らしい特色のある産品を生み出しています。

農地が町面積の半分以上を占め、温暖な気候と肥沃な土壌にも恵まれた豊郷町では、昔から稲作が盛んです。過去には、水源が遠く、水利に乏しかったことから、干ばつとの闘いが幾度となく繰り返されてきました。長きにわたった水との闘いに終止符が打たれたのは、明治時代に入ってからです。明治43年(1910)、その前年に起きた大干ばつを契機に立ち上がった有志の尽力によって、蒸気を使って地下水をくみ上げる当時世界最新の揚水ポンプが導入されました。日本初とされるこの龍ヶ池揚水機場の成功により、名実ともに豊かな郷が誕生しました。現

在は、農地のほ場整備と集落営農の法人化が進み、持続可能な農業を実現するための体制づくりと次代の担い手の育成を視野に入れた取り組みが進んでいます。特産品のとよ坊かぼちゃんや年々、生産量が増加し、認知度も高まっています。こだわり米や野菜を中心とする高収益作物の出荷も増加し、食を通じて豊かな郷の魅力を全国に発信しています。

稲作

豊かな自然の中で環境にも配慮しながら、こだわりのおいしいお米を作っています。



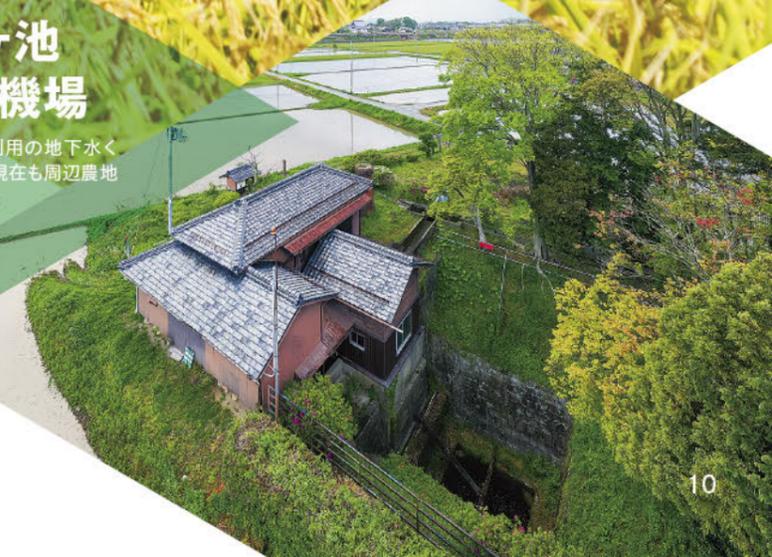
加工品

「とよさとプリン」をはじめ、生産者と町が協力して魅力的な商品を開発しています。



龍ヶ池揚水機場

日本初の動力利用の地下水くみ上げ施設で、現在も周辺農地を潤しています。



近江牛

約400年の歴史を持つブランド和牛で、きめ細かい肉質や、口どけと香りのよさが特徴です。

地酒

鈴鹿山系の豊かな伏流水を使い、江戸時代から変わらない製法で造られています。



とよ坊かぼちゃん

甘みの強いミニかぼちゃで滋賀県の「環境こだわり農産物」に認証されています。



刻み込まれる 青春の舞

豊郷町は約400年間親しまれてきた江州音頭発祥の地。今も地域のみなまで大きな輪になって笑顔で江州音頭を踊り、町民同士の絆を深めています。

豊郷町江州音頭保存会
現在、約30名の会員が所属し、普及活動として様々なイベントで熟練の踊りを披露しています。また保存・継承活動として、町内の学校や幼稚園・保育園で踊りの指導を行っています。



江州音頭は、「観音堂」の名で親しまれている豊郷町下枝の千樹寺で誕生しました。千樹寺は奈良時代の創建で、戦火で焼失した建物が天正14年（1586）に再建されたとき、落慶法要の余興に住職の根誉上人が境内に多くの人形を並べ、經文の句を歌いながら楽しそうに踊り始めました。それを見た参拝者たちが踊りに加わり、夜が更けるのも忘れて踊り明かしたのが江州音頭の起源と伝えられています。現在、江州音頭は夏祭りの総踊りとして地域に受け継がれています。「絵日傘踊り」「扇踊り」は町の無形文化財に指定され、保存・継承されています。

江州音頭は町内のイベントに欠かせません。華やかで陽気な総踊りには町民がごぞって参加し、会場が一つになります。



三方よし 導く 青春の心意気

偉大な近江商人たちを世に送り出してきた豊郷町。近江商人の生きざまが刻まれた「三方よし」の精神は、町民に脈々と受け継がれています。

近江商人は、江戸時代後期から明治期にかけて近江を拠点に全国を行商し、近代商業の礎を築きました。質素倹約を旨とし、勤勉で向上心旺盛な気風の強い近江商人を豊郷町は大勢輩出しました。その筆頭が、「伊藤忠」「丸紅」を創業し、日本を代表する総合商社に育て上げた初代伊藤忠兵衛とその息子の二代伊藤忠兵衛です。明治13年(1880)築の初代忠兵衛の旧邸は「伊藤忠兵衛記念館」として一般公開されています。伊藤家が生活していたころのまま残され

た建物内には、初代忠兵衛と二代忠兵衛の愛用品や資料などが展示され、当時の近江商人の暮らしぶりや彼らの足跡を伝えていきます。「先人を偲ぶ館」は、伊藤忠兵衛やパロン薩摩こと薩摩治郎八など豊郷出身の偉人8人の生い立ちや業績を豊富な資料で紹介しています。「売り手よし・買い手よし・世間よし」の「三方よし」を理念とし、社会と地域への貢献を大切にしてきた近江商人の想いは語り継がれ、次世代に継承されています。

阿自岐神社

池が美しい池泉多島式の庭園は日本最古の庭園の一つで、滋賀県の名勝に指定されています。

唯念寺

奈良時代、行基が創建した江州四十九院の一つで、枯山水の庭園は風雅な趣があります。

天稚彦神社

戦国時代、高野瀬村に築城した豪族の高野瀬氏が守護神として敬い、境内で楽市を開きました。

中山道一里塚

江戸時代、豊郷町は中山道・高宮宿と愛知川宿の「間の宿」としてにぎわい、一里塚が置かれました。



◆伊藤忠兵衛記念館

豊郷町観光協会ボランティアガイド「扇会」の案内で伊藤忠兵衛記念館をはじめ近江商人ゆかりの地巡りができます。

◆伊藤忠兵衛

「伊藤忠」「丸紅」の創始者で近江商人を代表する人物です。



◆先人を偲ぶ館

豊郷町出身の近江商人たちの業績と遺徳について学べる施設です。



◆豊会館

江戸時代、廻船業を営んだ藤野喜兵衛喜昌の旧宅で一般公開されています。





建て替えて住民サービスがより一層向上した豊郷町新庁舎

豊郷の冬の風物詩「豊郷小学校旧校舎群ライトアップ&イルミネーション」



人気の地域ブランド産品「とよさとプリン」



豊郷の肥沃な大地が育む高品質の農産物



普段からの備えで地域と命を守る豊郷町防災訓練

暮らしの安全・安心力アップ

幹線・生活道路の整備を進めるとともに、愛のりタクシーなどの地域交通や共助による移動支援の育成など住民生活を支える移動手段の確保・充実を図ります。住民の協力を得ながら環境保全・環境美化に取り組むとともにごみの減量化・再利用・再資源化を進め、循環型社会の形成を図ります。南海トラフ地震など将来予測される災害に備え、防災・減災対策を強化します。

- ◆ 道路交通・公共交通網の整備
- ◆ 生活環境の整備
- ◆ 環境保全の推進
- ◆ 循環型社会の形成
- ◆ 防災・減災対策の充実
- ◆ 地域安全対策の充実

地域みんなで環境美化に取り組むクリーン作戦



予約型乗合タクシーの「愛のりタクシー」

全世代参加の地域共生力アップ

定住や移住を促進するとともに、子ども・若者とシニア世代が互いに役割を担いながら支え合う多世代コミュニティの形成をめざします。また、誰もが一生、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、支援を必要とするすべての人を対象とした全世代型地域包括支援体制を整備します。人生をより豊かにするための健康づくりや生涯スポーツの推進にも地域ぐるみで取り組みます。

年齢やライフスタイルに応じたスポーツの機会を創出

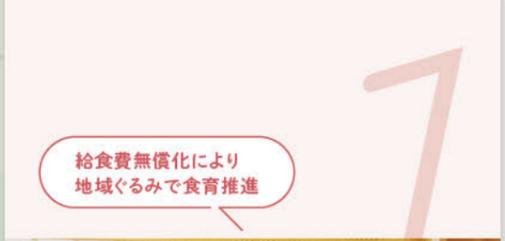


多世代交流が行われるあったかホーム



高齢者の体力づくりを支援する元気力アップ教室

- ◆ 多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進
- ◆ 全世代型地域包括ケアシステムの推進
- ◆ 健康づくりとスポーツの推進
- ◆ 高齢者福祉の充実
- ◆ 障がい者福祉の充実
- ◆ 医療・介護の基盤整備
- ◆ 共生のまちづくり



給食費無償化により地域ぐるみで食育推進



子どもたちの笑顔を育む「豊かな郷 子ども食堂」



生涯を通しての学びを支援する地域カレッジと文化教養講座

子育て環境の強みアップ

住民から評価の高い子育て・教育環境のよさをより一層強化するため、子ども一人ひとりの発育・発達を支援する子ども・子育て支援体制の充実を図るとともに地域における子育て支援の充実などを進めます。子どもの教育環境については施設・設備の整備充実や食育の推進を図りながら学校・家庭・地域が一体となって地域に開かれた学校づくりや青少年の健全育成を進めます。

- ◆ 子育ての環境づくり
- ◆ 子どもの教育環境の充実
- ◆ 地域における学習環境の充実
- ◆ まちの文化の保全と育成

住民直結の行政力アップ

より住みやすい魅力のあるまちづくりを進めるため、情報公開と行政懇談会などの広聴活動の充実を図るとともに、まちづくりに関わる計画策定から実施段階に至るまで幅広い住民が参画できる機会を創出します。地域資源・行政資源を最大限活用するため、効率的・効果的な行政財システムを確立するとともにPPP(公民連携)も導入しながら持続可能な行政経営を進めます。

- ◆ 情報共有と住民参画の推進
- ◆ 持続可能な行政経営の推進

住民と行政が互いの意見をキャッチボールする審議会



まちの魅力と活力アップ

農業については豊郷らしい特色のある農産物の生産を強化するとともに、担い手育成など持続可能な農業生産体制の整備に取り組みます。観光業では豊郷小学校旧校舎群をはじめ多彩な観光資源を活かした観光振興と情報発信を図ります。テレワークの活用やコミュニティビジネスの起業支援など技術革新や地域共生力を活かした新たな雇用の場づくりにも取り組みます。

- ◆ 農業の振興
- ◆ 観光の振興
- ◆ 地域産業の振興と雇用対策の充実



みんなので安心 元気なまち

2028年度までのまちづくりの指針となる第5次豊郷町総合計画は 住民とともにめざすまちの将来像を「一生青春、みんなので安心 元気なまち」と定め 住民と行政が協働で取り組むまちづくりについて 5つの基本目標を定めています。

令和4年2月

豊郷町新庁舎完成

新庁舎は、窓口の利便性を向上させるなど誰もが利用しやすい配慮が随所に取り入れられています。災害発生時の防災拠点としての機能も充実しています。

- ◆ 明るく開放感あふれるロビー。
- ◆ 機能性と効率性を重視した鉄筋コンクリート3階建ての新庁舎。
- ◆ 町民の傍聴にも配慮された議場。
- ◆ まちの重要な政策が意思決定される町長室。
- ◆ 日常的な打ち合わせや協議を行う会議室。



豊郷町役場
新庁舎
を体験!



青春中のまち 豊郷町MAP

旧「中山道」を中心に歴史・文化の
香り高いまち並みが広がる
美しい田園都市です。



豊郷町は滋賀県東部の湖東平野に位置します。県内の自治体の中で面積が最も小さく、平坦地に生活利便施設が立地し、豊かな農地が広がります。近江鉄道本線、東海道新幹線、国道8号線が町内を縦断しています。

360°VR
豊郷町の
まちなみを
体験!



昭和31年 9月
昭和32年 7月
昭和33年 12月
昭和34年 7月
昭和35年 2月
昭和36年 9月
昭和37年 4月
昭和38年 8月
昭和39年 7月
昭和40年 10月
昭和41年 9月
昭和42年 10月
昭和43年 12月
昭和44年 10月
昭和45年 9月
昭和46年 10月
昭和47年 8月
昭和48年 5月
昭和49年 2月
昭和50年 4月
昭和51年 8月
昭和52年 5月
昭和53年 3月
昭和54年 11月
昭和55年 10月
昭和56年 11月
昭和57年 8月
昭和58年 1月
昭和59年 2月
昭和60年 10月
昭和61年 3月
昭和62年 7月
昭和63年 2月
平成3年 11月
平成4年 9月
平成5年 7月
平成6年 2月
平成7年 4月
平成8年 10月
平成9年 3月

旧犬上郡豊郷村と旧愛知郡日枝村が合併、新豊郷村が発足
初代村長伊藤栄吉氏、初代議長西澤藤平氏
遺族会結成
第1回産業文化祭開催
豊郷村体育協会結成
豊郷商工会発足
崇徳保育園認可
伊勢湾台風で豊郷村災害救助法発動
防犯自治会豊郷支部結成
国道8号線開通
豊郷村日赤奉仕団結成
豊郷村老人会結成
宇曾川改修第一期工事竣工
豊郷村小中学校PTA連絡協議会結成
東海道新幹線開通
同和对策審議会答申
江州首領発祥地として郷土芸能保存会設立
豊郷村有線放送農業協同組合発足
村章制定(村制10周年記念)
豊郷村合併10周年記念式典
豊郷公民館竣工
第1回村民運動会開催(豊日中学校グラウンド)
第1回社会教育大会開催
豊郷村中年婦人会結成
大町隣保館竣工
同和对策事業特別措置法施行
豊郷村手をつなぐ親の会結成
豊郷幼稚園開園
三ツ池同光館竣工
町制施行により新豊郷町が誕生
興国化学工業KK関西工場誘致調印
豊日中学校同窓会発足
昭和49年 4月 豊郷町商工会館建設
大町教育集会所竣工
豊日中学校同窓会創立
三ツ池教育集会所竣工
社会福祉法人豊郷保育園開園
豊郷町文化協会設立
第1回町民文化祭開催
町立日枝保育園竣工
合併20周年記念式典
湖東広域衛生管理組合し尿処理場豊桶苑が竣工
豊郷町東部土地改良区設立
県営秦荘地区吉田工区ほ場整備事業完了
三笠宮殿下豊会館(視察)
町民憲章制定(合併25周年記念)
町民憲章碑除幕式
団体宮吉田地区ほ場整備事業完了
町の木(ウバメガシ)町の花(つつじ)制定
広報紙「とよさと」創刊号発行
豊郷町コミュニティセンター竣工
勤労者体育センター竣工
豊郷村日枝村合併30周年記念式典
四十九院50年ぶり雨乞い行事復活
オフトーク通信開局
豊郷東部地区ほ場整備完了
豊郷町新総合計画「21世紀の豊かな郷づくりビジョン」策定
豊郷武道館竣工
大字杉区、大字日栄区が誕生(16集落になる)
豊栄のさと竣工
豊郷駅コミュニティハウス竣工
南部簡易水道浄水施設竣工
町制施行25周年旧村合併40周年記念式典

昭和60年6月
広報紙「とよさと」
創刊



昭和41年12月
豊郷公民館竣工



昭和32年12月
第1回産業文化祭開催

65年の軌跡

～豊郷年表～

祝豊栄のさと竣工式典



平成7年10月
豊栄のさと竣工



昭和62年3月
勤労者体育センター
竣工



昭和50年10月
三ツ池教育集会所竣工



昭和31年9月
旧犬上郡豊郷村と
旧愛知郡日枝村が合併

Information

豊郷町恒久平和宣言

世界の恒久平和は人類共通の願いである。私達は、緑豊かな自然の中で伝統と香り高い文化に育まれて日々平和な生活を享受している。この平和を恒久的なものとするため世界唯一の核被爆国の国民として全世界の人々に被爆の恐ろしさと苦しみを訴え再度その惨禍を繰り返してはならない。ここに私達豊郷町民は人類の恒久平和を実現するためわが国の基本方針である非核三原則を堅持し、核兵器の廃絶をめざし核戦争防止を強く訴えここに豊郷町恒久平和の町とすることを宣言する。

豊郷町民憲章

- 私たち豊郷町民は
- 一、郷土を愛し うるおいある 美しい町をつくります
 - 一、人権を尊び 心かよう 住みよい町をつくります
 - 一、文化を高め 香り豊かな 伸びゆく町をつくります
 - 一、体を鍛え 活気ある 明るい町をつくります
 - 一、仕事に励み 希望ある 豊かな町をつくります

町章



豊郷の「とよ」を図案化したもので、円形にしたのは、町内の和合協力を意味し、上部の両端を左右に出すことで、町の飛躍発展をもたせた。尚本町は交通の要点にあるので斜に図を切ることで、その意味をあらわしたものの。(青森県八戸市：塚本秀樹作)

町の木 ウバメガシ



ウバメガシは、非常に頑丈な木で「長寿の木」といわれ、乾燥に耐え、公害にも強く、空気清浄に役立つことから選ばれたものです。(昭和59年1月1日制定)

町の花 ツツジ



ツツジは花の色・形とも非常に豊富で、多くの人々に愛され植栽されています。生活環境の緑化、美化運動の点からも町民の人気を集め選ばれたものです。(昭和59年1月1日制定)

年	月	内容
令和4年	2月	豊郷町役場建替工事完了
令和3年	5月	東京2020オリンピック聖火リレー
平成31年	3月	豊郷小学校旧校舍群 鉄製ボイラーが建築設備技術遺産に認定
平成30年	4月	総合計画(第5次「二生青春」)策定
平成29年	4月	小中学校の給食費無償化(県内初)
平成28年	11月	町制施行45周年旧村合併60周年記念式典
平成27年	4月	豊日中学校学校給食開始
平成26年	3月	豊郷小学校旧校舍群登録有形文化財に登録
平成25年	3月	豊日中学校ランチルーム竣工
平成24年	10月	浦安市・室戸市との災害時相互応援協定締結
平成23年	6月	いきがい協働センター竣工
平成21年	10月	湖東定住自立圏(1市4町)形成協定締結
平成20年	9月	総合計画(第4次「リスタートプラン」)策定
平成19年	3月	豊郷小学校旧校舍群大規模改修工事竣工
平成18年	4月	地域包括支援センター設置
平成17年	6月	高野瀬池公園竣工
平成16年	3月	子育て支援センター開所
平成15年	5月	豊郷幼稚園3年制保育開始
平成14年	8月	豊郷幼稚園新園舎竣工
平成13年	4月	豊郷幼稚園2年制保育開始
平成12年	2月	豊郷町観光協会設立
平成10年	6月	豊郷町役場庁舎別館竣工
平成9年	3月	集落環境整備事業竣工



令和4年2月
豊郷町役場建替工事完了



令和3年5月
東京2020オリンピック聖火リレー



平成21年10月
湖東定住自立圏形成協定締結



平成23年6月
いきがい協働センター竣工



平成24年10月
浦安市・室戸市との災害時相互応援協定締結



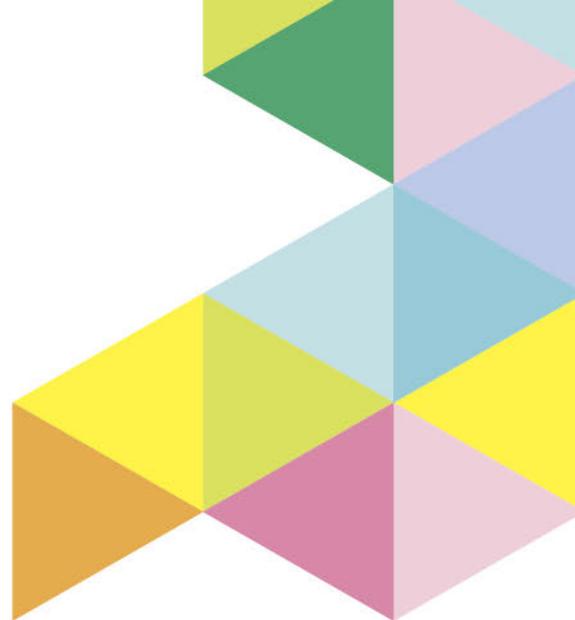
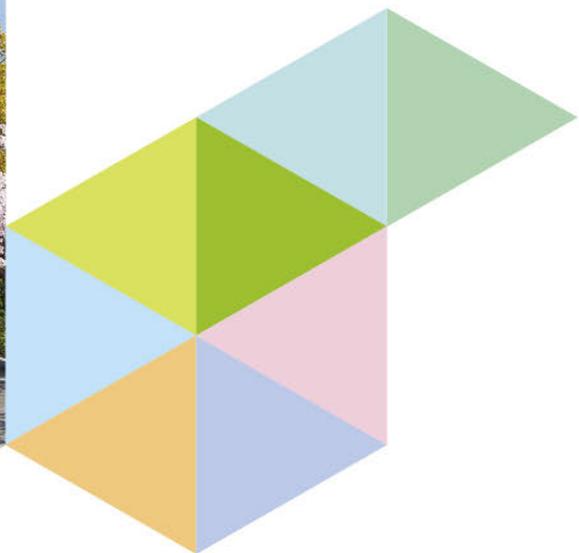
平成15年6月
豊郷幼稚園新園舎竣工



平成14年5月
日栄のさと竣工



平成16年3月
豊郷小学校竣工



滋賀県
豊郷町町勢要覧

発行年月：令和4年(2022)1月

発行：滋賀県豊郷町

〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑375

TEL:0749-35-8112

<https://www.town.toyosato.shiga.jp/>

編集：(株)ジャパンインターナショナル総合研究所